

令和2年度人間総合科学研究科
スポーツ健康システム・マネジメント専攻
専門科目試験問題

自分が「志望したコース」におけるA群、B群の中からいずれか1つの群を選び、その問いにある2つの課題について、それぞれ解答しなさい。

(コースの名称)

[スポーツプロモーションコース]

- A群 スポーツプロモーション領域
- B群 スポーツマネジメント領域

[ヘルスプロモーションコース]

- A群 ヘルスプロモーション領域
- B群 ストレスマネジメント領域

- 注1) 「志望したコース」とは、出願書類に自分が志望して記入したコース名を指します。コース内においては、A群、B群どちらを選択しても構いません。
- 注2) 解答は、問いのそれぞれの1課題に対して答案用紙1枚を用いて答えること。なお、裏面への記入および1課題に対して2枚以上の使用は認められません。
- 注3) 各答案用紙には、志望研究科名、専攻名、受験番号を指定欄に記入するとともに、最初の行に領域名及び課題番号を必ず明記してください。
- 注4) 試験終了後、問題用紙、答案用紙、下書き用紙のすべてを回収します。

[スポーツプロモーションコース]

A群(スポーツプロモーション領域)

問い: 次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題(1)

超高齢社会における障がい者スポーツのプロモーションは、これからのスポーツプロモーションを考える上でどのような意義を持つのかについて論じなさい。

課題(2)

昨今、スポーツ団体に対するガバナンスが強調されているが、その背景と今後の課題について論じなさい。

B群(スポーツマネジメント領域)

問い: 次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題(1)

スポーツ・タレント発掘事業が日本スポーツ振興センター、日本オリンピック委員会などの組織により全国的に展開されている。その功罪について、競技者育成の見地から論じなさい。

課題(2)

オリンピック選手選考の時期(内定を含む)や方法については各競技団体で異なる。競技団体がアスリートファーストの観点から考慮すべき点を2つ以上挙げ、その理由と共に論じなさい。

[ヘルスプロモーションコース]

A群(ヘルスプロモーション領域)

問い: 次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題(1)

人生100年時代を目前にした我が国で、今後健康で生きがいのある社会を構築していくために、現在の課題を2つ以上挙げ、なぜそれらの課題が生まれているのかをそれぞれ論じなさい。

課題(2)

青少年期における身体活動・運動の役割について、身体面、心理面、社会面からそれぞれ具体的に論じなさい。

B群(ストレスマネジメント領域)

問い: 次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題(1)

ストレスには悪いストレス(distress)だけではなく、良いストレス(eustress)もある。良いストレスはどのようなストレスか。具体的な例を3つ挙げ論じなさい。

課題(2)

高齢者のストレス要因を身体面、心理面、社会面からそれぞれ1つずつ挙げ、それぞれの対応策について論じなさい。